

プレゼンボードの処理の違い

文書管理番号：1160-02


Q. 質問

間取りを変更したが、変更した内容がプレゼンボードに反映しない。

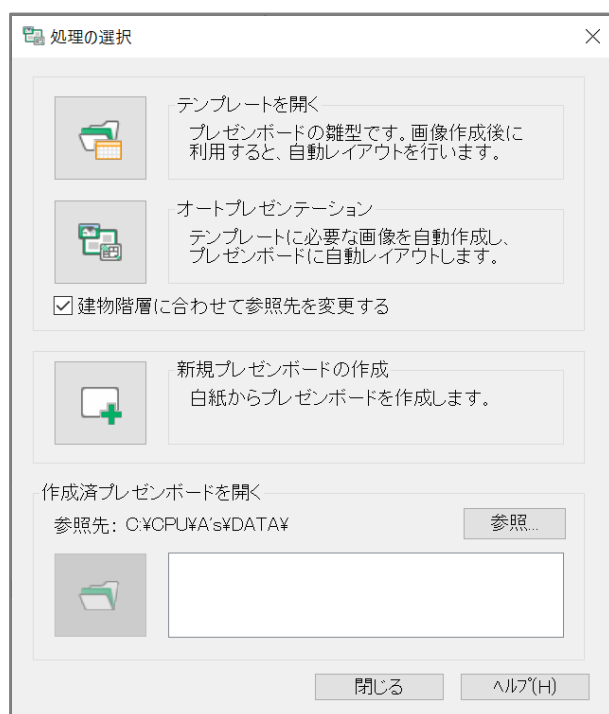
「テンプレートを開く」と「オートプレゼンテーション」の違いがわからない。

プレゼンボードの「処理の選択」でどれを選択したらよいのかわからない。

A. 回答

☰(クイックメニュー)またはメインメニューから  (プレゼンボード) をクリックすると、処理の選択画面が表示されます。

「処理の選択」で選択する項目により、その後のプレゼンボード作成の動きが異なります。



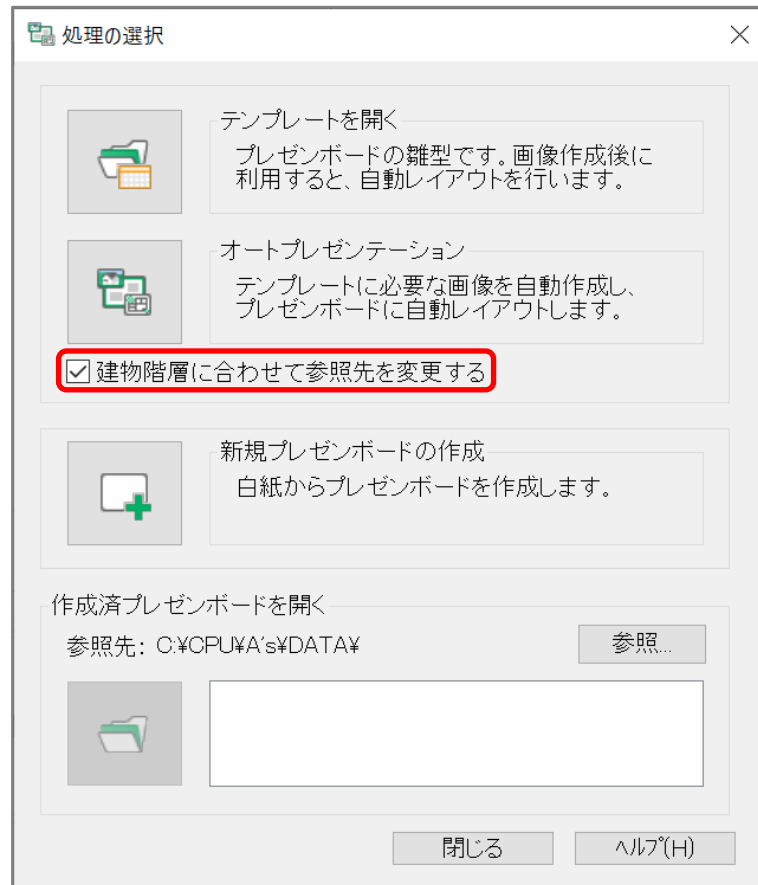
【注意】

A's (エース) のプレゼンボード機能は、デザイナーを使用します。デザイナーがインストールされている環境でご利用ください。

* デザイナーは、PRESEN MAGIC の後継製品です。

【参考】建物階層に合わせて参照先を変更する


「建物階層に合わせて参照先を変更する」の設定により、「テンプレートを開く」「オートプレゼンテーション」を選択した際の参照先が変わります。



「建物階層に合わせて参照先を変更する」が

ON：建物階層に合わせた参照先を開きます。

- * 2階建ての場合は、デザイナーをインストールしたドライブの「CPU」フォルダー⇒「Designer」フォルダー⇒「Program」フォルダー⇒「Template（2階）」フォルダーを参照します。

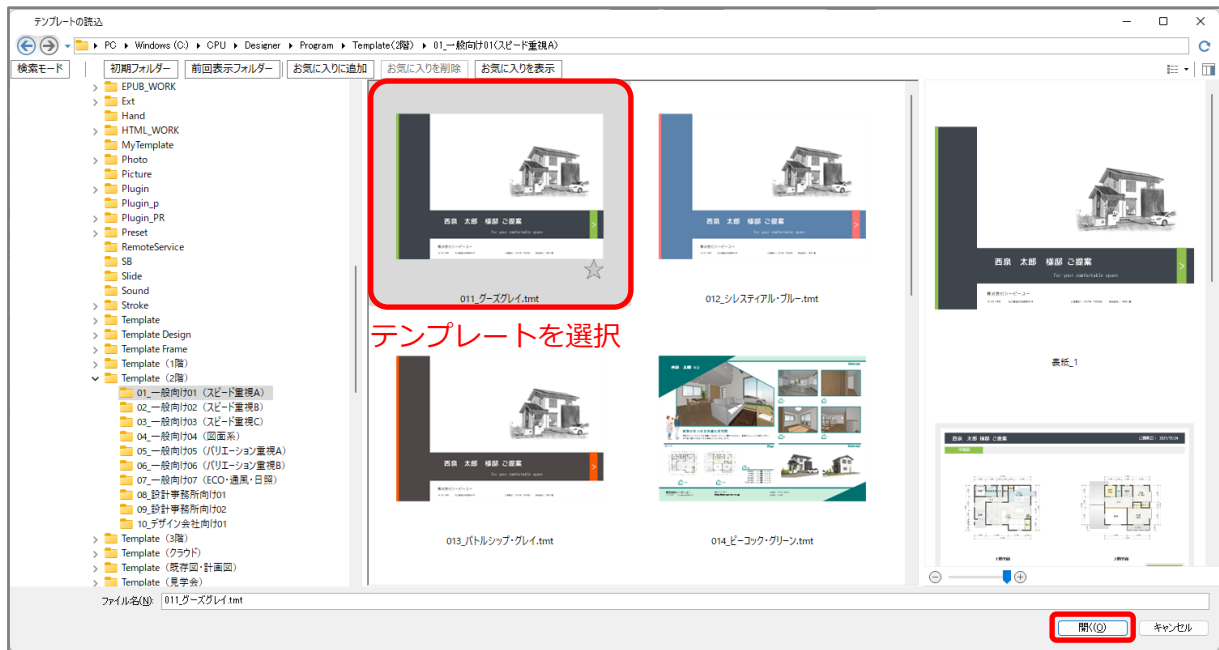
OFF：  (The Present)の「ツール」⇒「環境」で設定している参照先を開きます。

- * 初期設定はデザイナーをインストールしたドライブの「CPU」フォルダー⇒「Designer」フォルダー⇒「Program」フォルダー⇒「MyTemplate」フォルダーを参照します。

テンプレートを開く

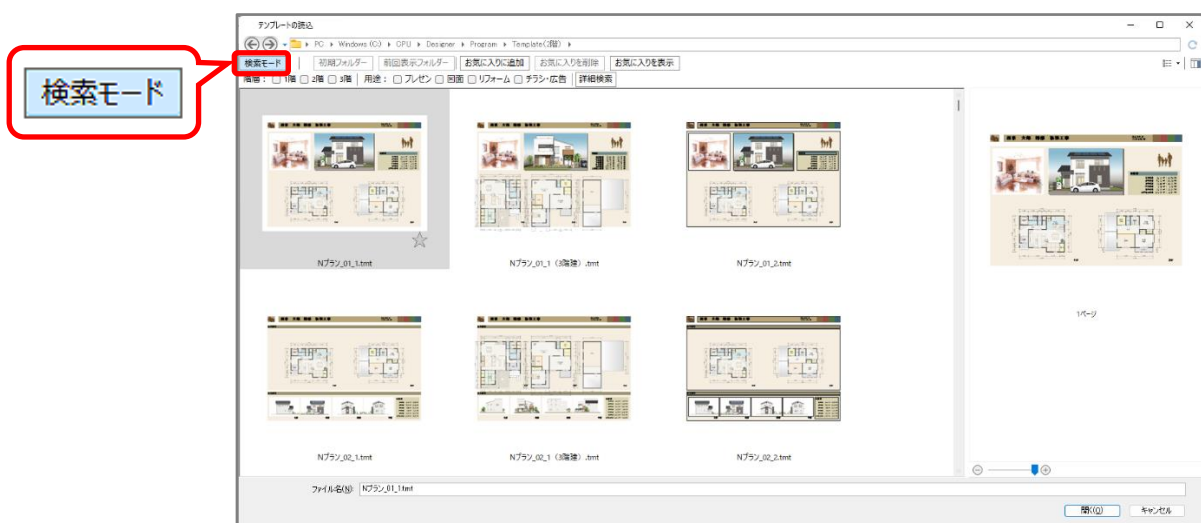
プレゼンボードの処理の選択画面で (テンプレートを開く) をクリックすると、テンプレートの読込の画面が表示されます。テンプレートの読込の画面で、テンプレートを選択し「開く」をクリックすると、テンプレートが開きます。

テンプレートとは、プレゼンボードを作成する際のベースとなる設定や固定のデザインの雛形です。A's (エース) のプレゼンボードでは、豊富な種類のテンプレートをご用意しています。



【参考】検索モード

「検索モード」を有効にすると、絞り込み用の項目が表示され、画面表示が変わります。

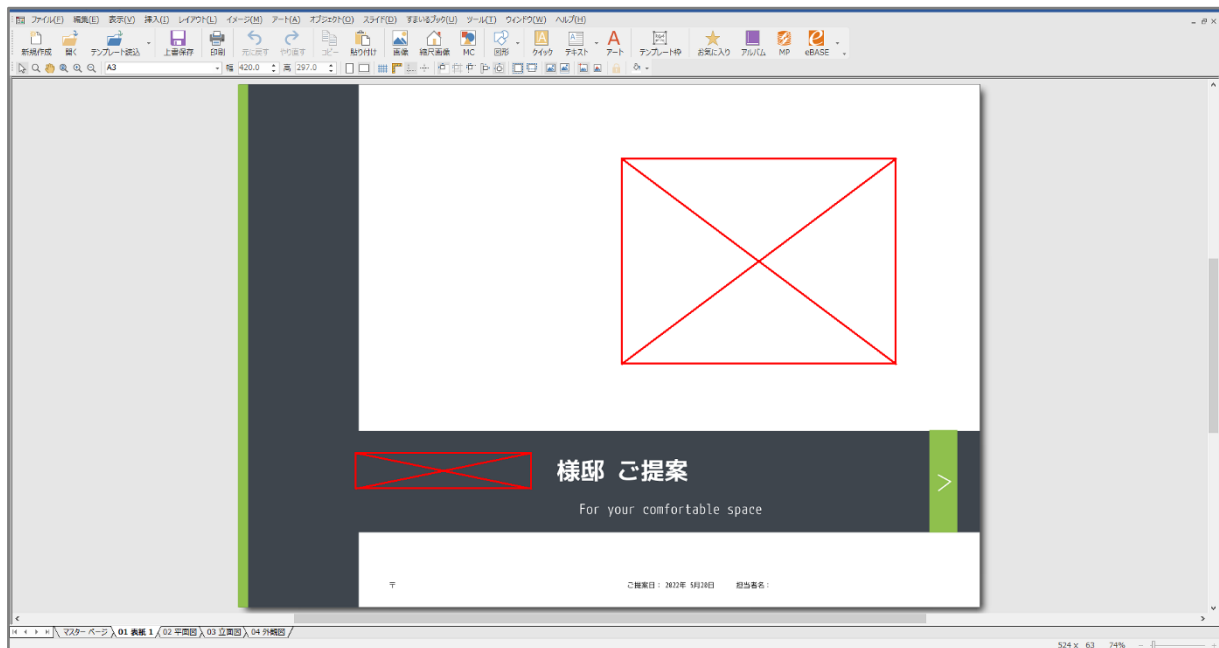


項目にチェックを入れると全テンプレートから対象となるテンプレートを絞り込み、表示します。

「詳細検索」をクリックすると、より細かな条件から対象テンプレートを絞り込めます。

検索モードを利用した場合、次回起動時は検索モードが有効な状態で起動します。

起動中の物件で、一度もオートプレゼンテーションを行っていない場合、テンプレートを開くと、画像やテキストデータが挿入される場所には赤い図が表示されます。



【注意】

赤い図には画像やテキストデータが自動で挿入されるリンクが設定されているため、過去にオートプレゼンテーションを行い、リンク先に画像やテキストデータがある場合はそのデータが挿入されます。

そのため、起動中物件とは異なる物件のプランやパース画像が表示される場合があります。


【参考】

A's (エース) のプレゼンボードでは、多種多様なテンプレートをご用意していますが、テンプレートを自作することもできます。

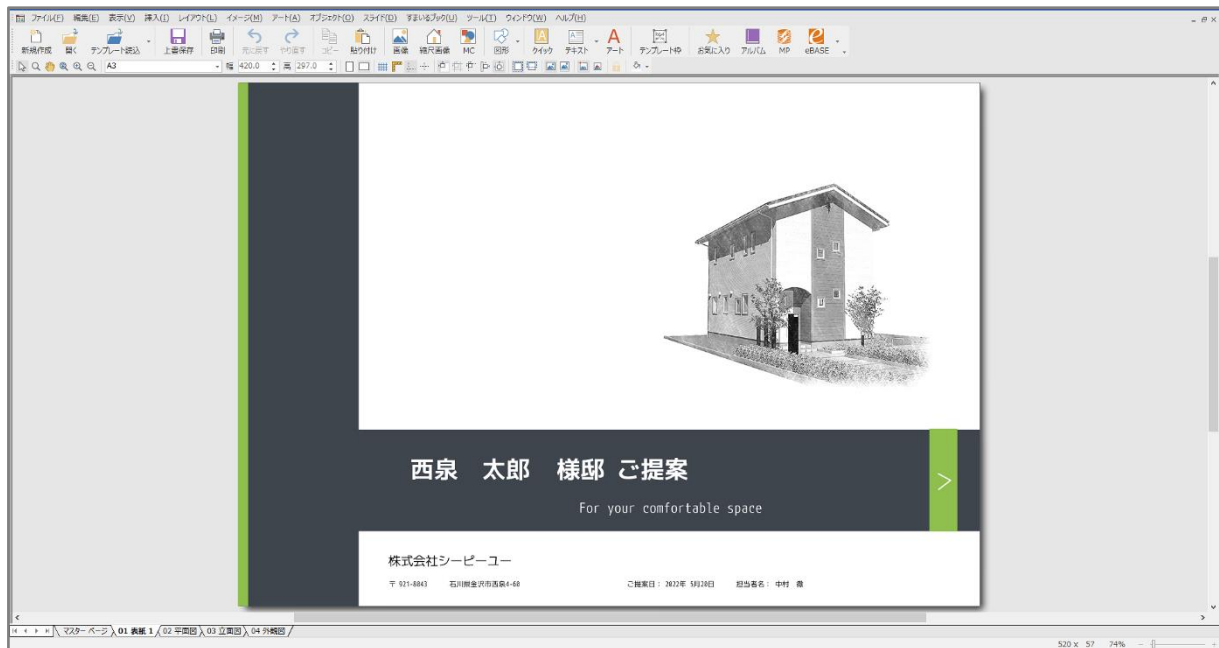
また、作成したプレゼンボードをテンプレートとして保存し、使用することもできます。

テンプレートの作成については、A's (エース) のマニュアル「デザイナー編」をご覧ください。

オートプレゼンテーション

プレゼンボードの処理の選択画面で  (オートプレゼンテーション) をクリックすると、テンプレートの読み込み画面が表示され、そこで選択したテンプレートに合わせて必要な画像やテキストデータを自動で作成します。

自動で作成された画像やテキストデータが、選択したテンプレートに自動レイアウトされ、プレゼンボードを作成します。



起動中の物件でプレゼンボードを自動作成したい場合や、プレゼンボードを作成後に間取りの変更などがあつた場合は、データ作成も自動で行う「オートプレゼンテーション」を使用します。

【注意】

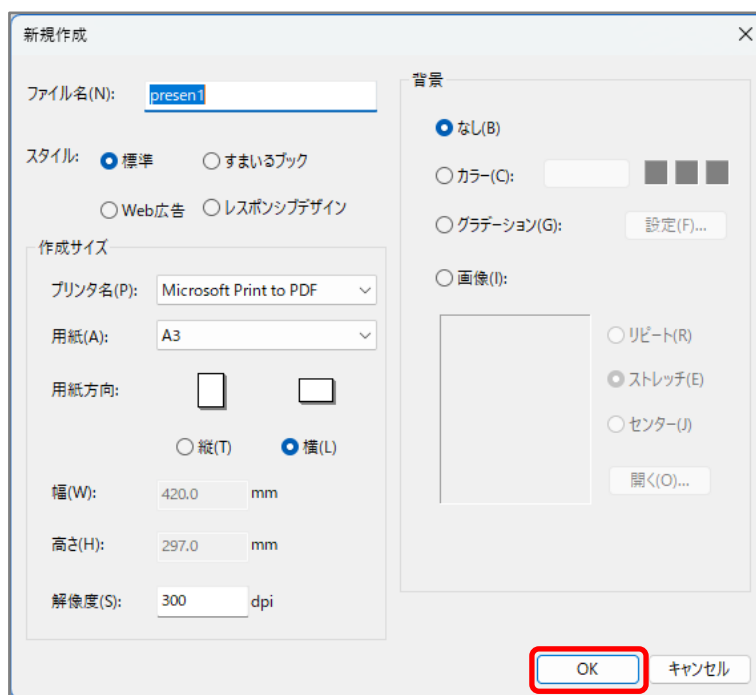
オートプレゼンテーションを行っても、プレゼンボードの各種フォルダーのパス設定が、A's (エース) やデザイナーのインストールフォルダーと合っていない場合、画像が表示されません。

プレゼンボードのパス設定を確認・変更する方法については、[こちら](#)をご覧ください。

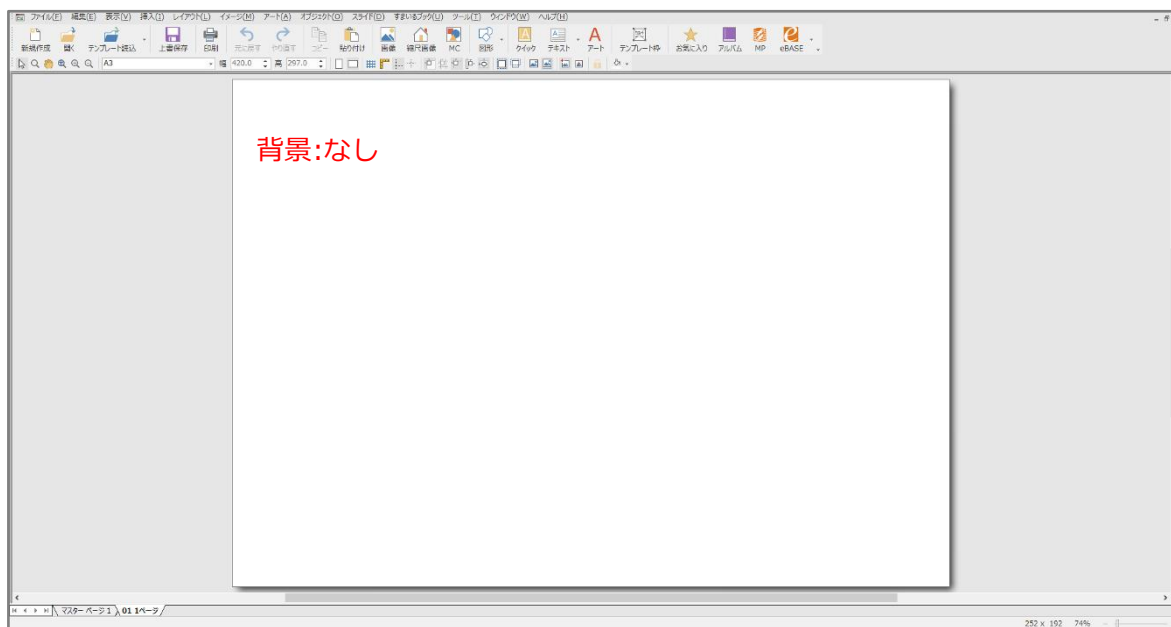
[\[1155\] プレゼンボードの各種フォルダーの設定について](#)

新規プレゼンボードの作成

プレゼンボードの処理の選択画面で (新規プレゼンボードの作成) をクリックすると、新規作成の画面が表示されます。



各種設定を行い「OK」をクリックすると、設定に応じたサイズと選択した背景のプレゼンボードが表示されます。



(画像) や (縮尺画像)、**「挿入」** ⇒ **「外部テキスト」** からデータを挿入し、プレゼンボードを作成します。


各アプリケーションで画像を作成・保存済みで、自由にレイアウトを決めて、一からプレゼンボードを作成したい場合に使用します。

作成済プレゼンボードを開く

既に保存しているプレゼンボードを開きます。

作成済みのプレゼンボードを保存している場所を「参照」から指定すると、作成済みプレゼンボードのファイル名が白枠の一覧に表示されます。

開きたいプレゼンボードを選択し、

 (作成済プレゼンボードを開く)をクリックします。

